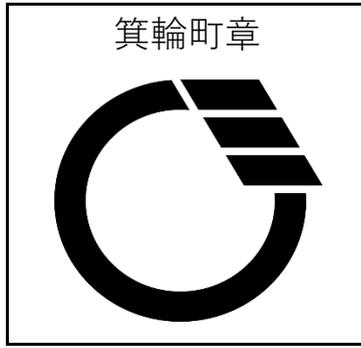


箕輪町町勢要覧

～ 2022 ～

みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町
～人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”～



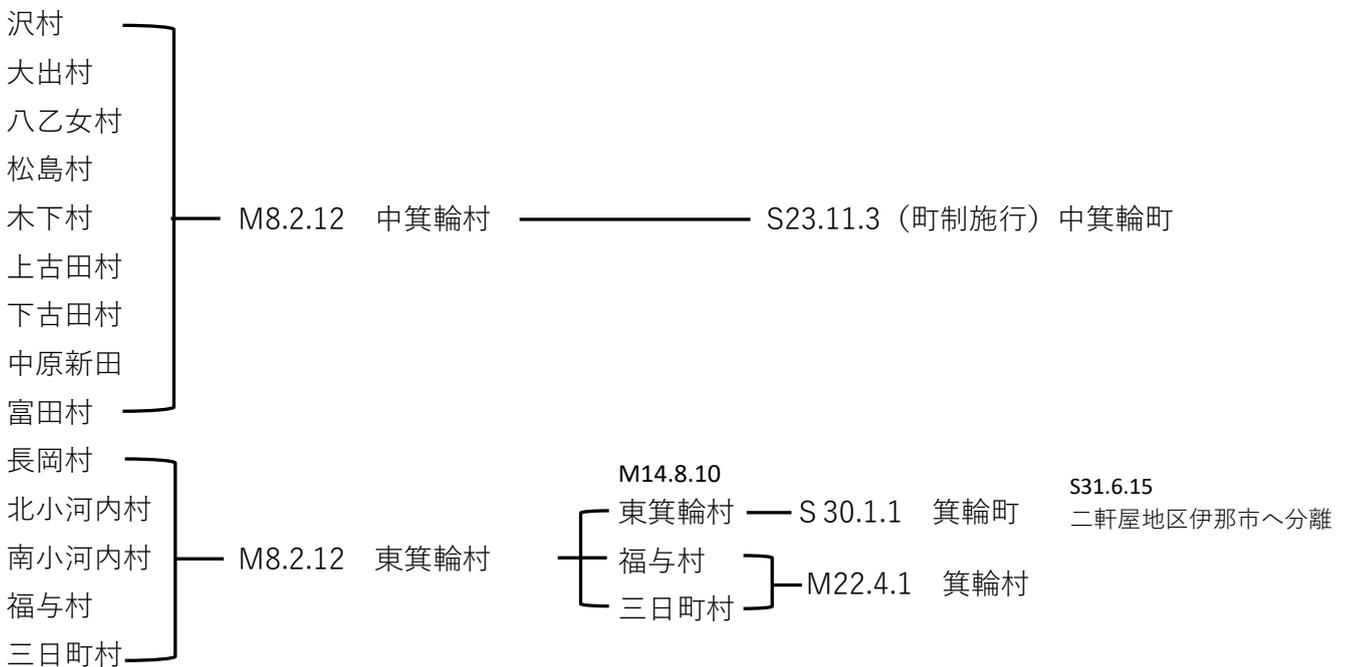
町章の意味するもの
 町名「箕輪」を率直に図案化し、
 この町の豊かさと平和を象徴している。
 (昭和34年11月3日制定)

箕輪町民憲章 (昭和60年7月1日制定)

わたくしたちの箕輪町は、歴史の古い路原の里にあり、美しい自然にはぐくまれ、先人の努力によって築かれた輝かしい郷土です。わたくしたちは、このまちの住民であることに誇りを持ち、さらにあすに向って、創造性豊かなすばらしいまちにすることを願って、町民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、空と水と緑のきれいなまちをつくります。
- 1 健康で明るい家庭を築き、おもいやりのある幸せなまちをつくります。
- 1 働くよろこびをもち、産業の豊かな活力あるまちをつくります。
- 1 教養を高め、スポーツに親しみ、うるおいのあるまちをつくります。
- 1 きまりを守り、平和で住みよいまちをつくります。

変遷図

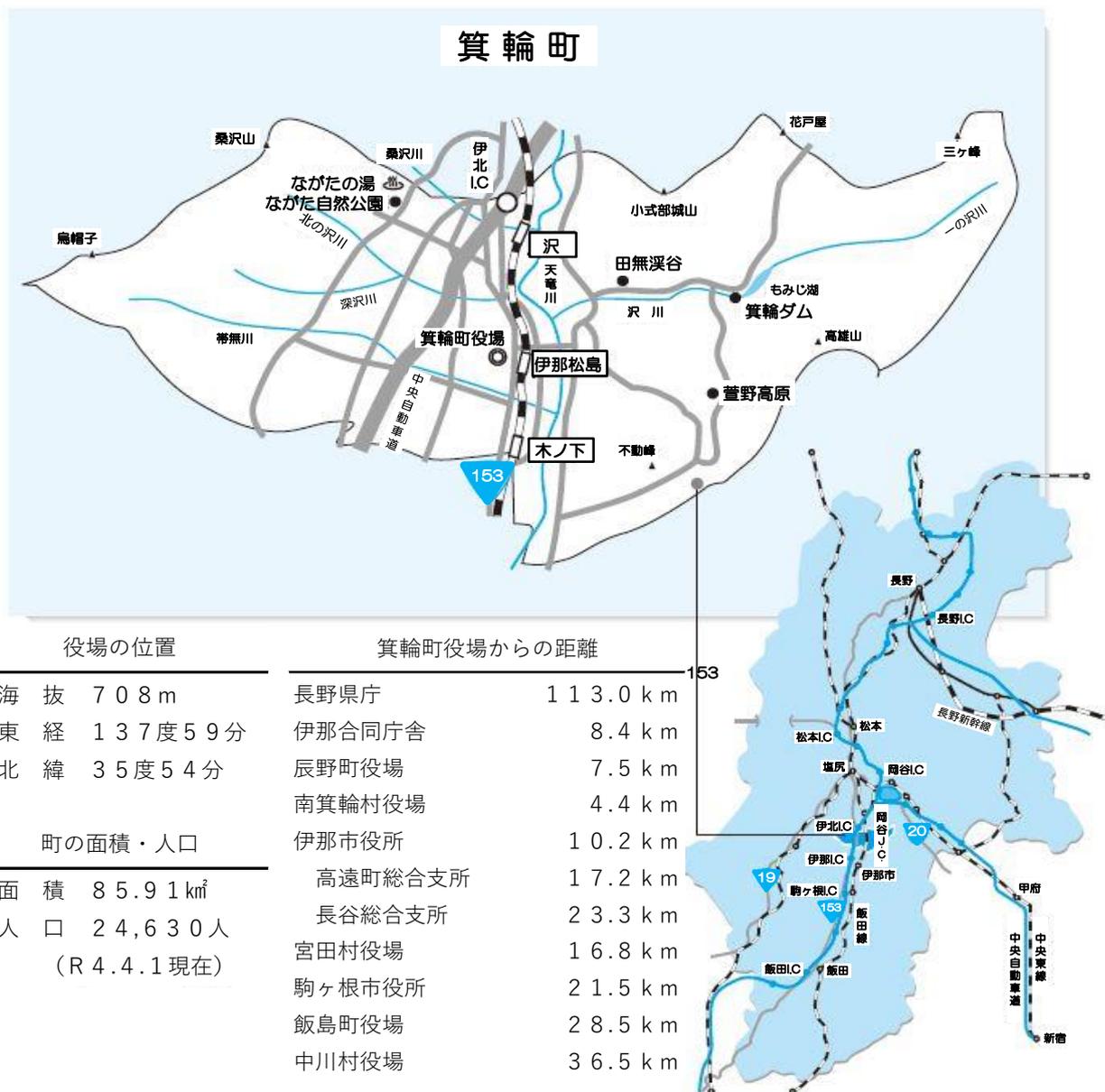


利用される方に――

表中特に注記しないかぎり、年次欄の「年」とは暦年(1月～12月)、「年度」とは会計年度(4月～翌年3月)を示しています。本書の統計表の記号は次の通りです。

- (-) 事実のないもの (…) 不詳または調査を欠くもの
- (0) 単位未満のもの (×) 統計法により公表をひかえたもの

1 地 勢

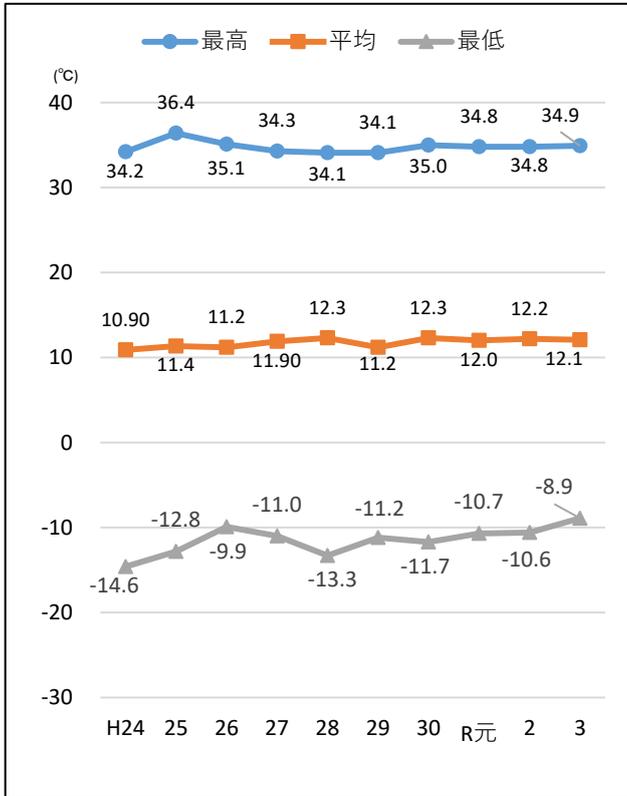


本町は県のほぼ中央部、上伊那郡の北部に位置し、河岸段丘の典型的な地勢を示しています。中部平坦地を北から南へ天竜川が貫流し、竜東は狭小な大地から伊那山脈に、竜西は広い緩傾斜の台地となって中央アルプス連峰に続き、ともに農耕地帯を形成しています。周囲は、東に山林をもって諏訪市・伊那市高遠町に接し、南は耕地、原野をもって伊那市・南箕輪村に連なり、西北は耕地山林をもって辰野町に接しています。また、一級河川として西に桑沢川、深沢川、帯無川、東に沢川等があり、いずれも天竜川に合流しています。平坦地をほぼ南北に、幹線道路（国道153・主要地方道伊那辰野停車場線）が走り、これらを結んで多数の主要町道等が走っています。JR飯田線も中部平坦地を天竜川に沿って南北に走り、町内に伊那松島・木ノ下・沢の3駅があります。

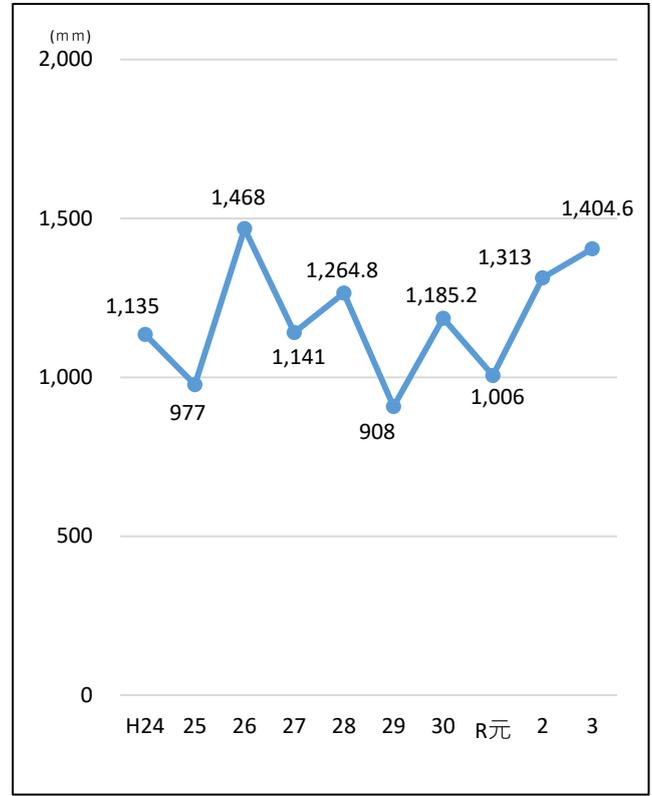
2 自然

■ 気象概要

● 気温の推移



● 年間降水量の推移



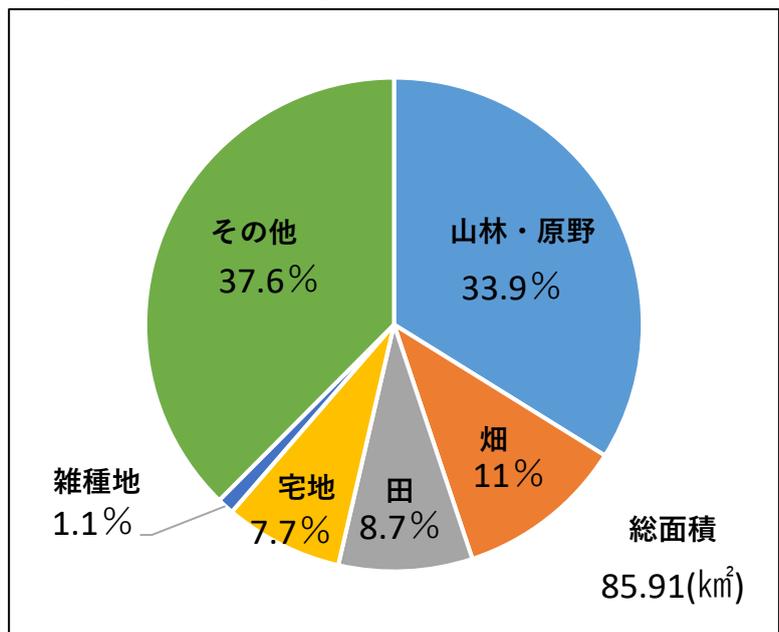
資料/箕輪消防署 (平成26年まで)
箕輪町HP「気象観測情報」 (平成27年以降)

■ 地目別面積

種類別	面積 (km ²)
山林	23.94
原野	5.18
畑	9.40
田	7.46
宅地	6.64
雑種地	0.95
その他	32.34
計	85.91

令和4年1月1日現在

● 地目別の総面積に対する割合



資料/土地に関する概要調書 令和4年1月1日現在